

口腔インプラント学講座

講座名	口腔インプラント学講座	
主任教授(代行)	佐々木穂高	
プログラム責任者名	水道橋病院: 佐々木穂高、平野友基、小田由香里、野本冬歌 千葉歯科医療センター: 伊藤太一、古谷義隆	
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	(公社) 日本口腔インプラント学会 専修医・専門医 (公社) 日本顎顔面インプラント学会 専門医 (公社) 日本歯科補綴学会 認定医、 (特非) 日本歯周病学会 認定医	
プログラムの特色		
口腔インプラント学は、他領域連携型の総括的な学問であることはよく知られている。これまでに縦列で学んできた歯科医学の系統科目に対して、横に繋げる知識を身につけ、実践していくのがインプラント学である。従って当講座では、インプラント治療に特化した優れた歯科医師を養成するのではなく、保存学、補綴学、口腔外科学等の一般歯科に関する知識を習得し、幅広く歯科医療に対応が出来るの歯科医師の育成を前提とし、その知識・技術を基に診査・診断から治療計画の立案、そしてインプラント治療を含めた包括的な歯科治療が行えるスーパーデンティストの育成を目指し、講座運営を行っている。		
プログラムの内容		
	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	GIO: 口腔インプラント治療を理解するために歯科学の基礎的知識・技能・態度を習得する (公社) 日本口腔インプラント学会 入会(4月) (公社) 日本顎顔面インプラント学会 入会(4月) 知識・技能研修) 新人医局員講義(本務職員、非常勤講師、臨床教授・准教授・講師らが担当)(4~6月) 口腔インプラント学 基礎講義(病理学・解剖学・口腔外科学・歯周病学・補綴学) カルテ記載方法、学会発表スライド作成講義 治療計画立案、咬合診断実習 解剖実習 縫合実習 読影実習 口腔外科病棟実習 東京歯科大学千葉歯科医療センターインプラント科研修 →上記の講義終了後に記述試験を実施する。 抄読会・研究報告会(毎週) 症例検討会・術前カンファレンス(毎週) 口腔インプラント学講座主催講演会(年3回) (公社) 日本口腔インプラント学会 総会・学術大会 参加(9月) (公社) 日本顎顔面インプラント学会 総会・学術大会 参加(12月) (公社) 日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部学術大会 参加(2月)	
2年目	GIO: エビデンスに基づいた口腔インプラント治療を実践するためにインプラント治療に関する基本的な知識・技能・態度を習得する 知識・技能研修) 介助についた症例のレポート提出(15症例) →埋入実技試験 ※合格後に指導医下でインプラント埋入手術が行える ※臨床技能研修へ 抄読会・研究報告会(毎週) 症例検討会・術前カンファレンス(毎週) 口腔インプラント学講座主催講演会(年3回) (公社) 日本口腔インプラント学会 総会・学術大会 参加(9月) (公社) 日本顎顔面インプラント学会 総会・学術大会 参加(12月) (公社) 日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部学術大会 参加(2月) 上記学会にて発表を行う(症例報告あるいは、大学院研究の学会発表)	
	臨床技能研修) 指導医のもと、単歯中間欠損等の症例に対し、埋入手術、上部構造作製、メンテナンスを実施 指導医との共同診察、臨床教授との共同診察(通年) 規定の手術介補症例数の達成、技能試験の合格後に指導医下でインプラント埋入手術を実施 口腔インプラント学講座主催ハンズオンセミナー(年6回) →インプラントのトラブル対応方法について習得する →インプラント関連処置(サイナスリフト、ソケットリフト、GBR等)ハンズオン実習で手術手技を習得する	

3年目	<p>GIO:エビデンスに基づいた口腔インプラント治療を実践するためにインプラント治療に関する基本的な知識・技能・態度を習得する</p> <p>知識・技能研修) 抄読会・研究報告会(毎週) 症例検討会・術前カンファレンス(毎週) 口腔インプラント学講座主催講演会(年3回) (公社)日本口腔インプラント学会 総会・学術大会 参加・発表(9月) (公社)日本顎顔面インプラント学会 総会・学術大会 参加・発表(12月) (公社)日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部学術大会 参加・発表(2月) ※上記の学会にて発表を行う →大学院生:博士課程での研究内容、臨床専門専修科生:臨床研究・症例報告 (公社)日本口腔インプラント学会 ケースプレゼンテーション試験 受験資格取得 症例報告論文の1編を作成・投稿 ※ケースプレゼンテーション論文も含む</p> <p>臨床技能研修)指導医のもと、連続した数歯欠損等の症例に対し埋入手術からメンテナンスまで自らが行う 指導医との共同診療、臨床教授との共同診療(通年) ※全顎(1/3顎以上)の欠損症例(3例以上)の確保 規定の手術介補症例数の達成、技能試験の合格後に指導医下でインプラント埋入手術を実施 口腔インプラント学講座主催ハンズオンセミナー(年6回) →ハンズオンインストラクターとして参加</p>
4年目	<div style="display: flex;"> <div style="width: 50%;"> <p>GIO:エビデンスに基づいた口腔インプラント治療を実践するためにインプラント治療に関する基本的な知識・技能・態度を修得する</p> <p>知識・技能研修) 抄読会・研究報告会(毎週) 症例検討会・術前カンファレンス(毎週) 学位論文投稿のため、研究をまとめることを最優先とする。 学位論文審査終了後から、学会参加が行えることとする</p> <p>臨床技能研修) 学位論文審査終了後から、患者配当を再開し 臨床に復帰できることとする</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>GIO:エビデンスに基づいた口腔インプラント治療を実践するためにインプラント治療に関する基本的な知識・技能・態度を修得する</p> <p>知識・技能研修) 抄読会・研究報告会(毎週) 症例検討会・術前カンファレンス(毎週) 口腔インプラント学講座主催講演会(年3回) (公社)日本口腔インプラント学会 総会・学術大会 参加(9月) (公社)日本顎顔面インプラント学会 総会・学術大会 参加(12月) (公社)日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部学術大会(2月) (公社)日本口腔インプラント学会 ケースプレゼンテーション試験 受験資格取得</p> <p>症例報告論文の1編を作成・投稿 ※ケースプレゼンテーション論文も含む</p> <p>臨床技能研修)指導医のもと多数歯欠損症例等に対して埋入手術からメンテナンスまでを自らが行う 3年目の同様の条件で、症例数を積み重ねる 指導医との共同診療、臨床教授との共同診療(通年) ※全顎(1/3顎以上)の欠損症例(3例以上)の確保</p> </div> </div>
5年目	<p>GIO:安全、確実な口腔インプラント治療を実践するために基本的な知識・技能・態度をベースとした応用的インプラント治療技能を身につける</p> <p>知識・技能研修) 抄読会・研究報告会(毎週) 症例検討会・術前カンファレンス(毎週) 口腔インプラント学講座主催講演会(年3回) (公社)日本口腔インプラント学会 総会・学術大会(9月) (公社)日本顎顔面インプラント学会 総会・学術大会(12月) (公社)日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部学術大会(2月) ※5年間までに、学会発表は2回以上、論文(研究・症例報告)を1編以上の投稿を達成する。 (公社)口腔インプラント 認証医 受験資格取得 ※ケースプレゼンテーション試験合格が必須 (公社)口腔インプラント 専門医 受験資格取得 ※ケースプレゼンテーション試験合格が必須 (公社)日本顎顔面インプラント学会 専門医 受験資格取得</p> <p>臨床技能研修) 指導医、臨床教授との共同診療の継続 指導医付きでの単独患者配当の開始 →規定の手術症例数の達成、試験の合格後に単独でインプラント埋入手術を実施 口腔インプラント学講座主催ハンズオンセミナー(年6回)にインストラクターとして参加 学内、学外にて口腔インプラント治療に関連した講演会に演者として講演を行う</p>
6年目以降	<p>無歯顎などの咬合再構成が必要な症例、骨造成症例、広範囲顎骨指示型装置症例などの難易度の高い症例に主担当として治療を行っていく。また、インプラント関連学会の資格取得後は、インプラント埋入手術指導医を含め、若手医局員の臨床指導にあたりながら、臨床経験を重ねていく。 また、若手医局に対しての研究指導も行ないながら、英語論文1編/年以上を目標とする</p>

●本務教員で認定医等の有資格者
(指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載)

(公社)日本口腔インプラント学会	指導医	伊藤 太一
	専門医	佐々木 穂高 平野 友基 小田 由香里 安岡 はるか
	専修医	野本 冬歌
(公社)日本顎顔面インプラント学会	指導医	古谷 義隆
(特非)日本歯周病学会	指導医	伊藤 太一
	認定医	小田 由香里 安岡 はるか
(公社)日本補綴歯科学会	認定医	小田 由香里